

科目名	介護演習Ⅱ				担当	穂谷 かつ江		
形態	演習	単位数	2	開講時期	2年通年	実務経験	介護支援専門員、看護師として勤務経験あり	
必修	介護：必修				ナンバリング	Y3503	DPとの関連	4
授業概要	<p>介護実践における、衣・食・住・移動・清潔・排泄といった生活場面において、最低限修得していなければならない生活支援のための技術を学ぶ。</p> <p>「勘やこつ」といったものではなく、知識に裏付けられた技術を提供できることが相手の身を守りかつ自分の身を守るために必要な基本的知識と技術を学んでいく。</p>							
到達目標 学習成果	<p>○ひとつひとつの動作に必ず根拠があることが理解でき安全・安楽な動作ができる</p> <p>○相手の残されている力を最大限活用した支援方法が理解できる</p> <p>○安全・安楽の上に経済性と効率性も必要であることを理解できる</p>							
授業計画	回	内容						
	1	寝床環境の理解と自立に向けた支援①				寝床環境の整備と安全性・安楽性		
	2	" ②				褥瘡予防と寝床環境		
	3	生活と家事①				生活支援の基礎知識とその対応方法		
	4	" ②				快適な生活環境を整える		
	5	住宅改修と福祉用具①				住宅環境整備の必要性和留意点		
	6	" ②				福祉用具とは、その活用方法と留意点		
	7	整容と清潔保持への理解と自立に向けた支援①				整容と清潔保持に関する基礎知識		
	8	" ②				整容と清潔保持の支援技術		
	9	排泄への理解と自立に向けた支援①				排泄に関する基礎知識		
	10	" ②				排泄の支援方法		
	11	食事への理解と自立に向けた支援①				嚥下と誤飲、食事介助の体験		
	12	" ②				食事介助から自立支援を考える		
	13	移動・移乗に関連した技術と自立支援①				移動・移乗に関する基礎知識		
	14	" ②				移動移乗に関する用具と活用方法		
15	入浴支援と自立支援				身体の状態に合わせた入浴支援			
評価基準	<p>秀：経済性、効率性まで考慮し一人で実施できる</p> <p>優：安全安楽に一人で実施できる</p> <p>良：アドバイスがあれば一人で実施できる</p> <p>可：知識だけは理解できている</p>							
評価方法	授業中の実技の実施状況 50% 実技試験 50%							
フィードバック 方法	自己評価表により自らの到達状況を確認していく							
アクティブ ラーニング	互いに利用者役と介助者役になり実技を実施していくことから、その都度相互での意見交換を実施しつつ、問題解決を図っていく							
教科書	『介護職員初任者研修テキスト』第2分冊（QOLサービス）							
参考書	授業内で資料等提供する							
履修条件	<p>○「介護演習Ⅰ」を履修していること</p> <p>○本科目は、介護職員初任者研修の必修科目であるため、原則欠席は認めない。当該課程履修予定者は必ず履修すること</p>							
授業外学習	<p>事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書（教科書関連箇所含む）や友人との討議の機会をつくり思考を深めること。（30分）</p> <p>事後学習：授業で扱われた事項に関する学びと自己の課題を考察すること。（1時間）</p>							
オフィスアワー	授業終了後に質問等を受け付ける							